



一般社団法人 長崎青年協会

2015年
2月号

一般社団法人
長崎青年協会憲章
我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

2～3月スケジュール

- 2月22日 長崎ランタンフェスティバル媽祖行列参列
- 2月23日 臨時総会・定例会（長崎ブリックホール）
- 3月17日 理事者引継会（H26年度最終理事会）
- 3月21日 3月例会・卒業を送る夕べ（サンプリエール）

平成26年度スローガン

楽
[GAKU]

会長挨拶



第46期会長
馬渡 一正

余寒の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、当会におきましては、2月1日（日）に新人事業が開催されました。今年は被爆70年目という、我々長崎市民にとって忘れてはならない節目の年を迎えるということもあり、原爆にまつわる『遺構さるく』をメインに据え、被爆体験をされた方の講演等も同時に行われました。我々会員も、改めて原爆の恐ろしさを感じ、そしてこの過ちを2度と繰り返してはいけないという思いにさせられる実に意義深い事業になったのではないかと思います。赤木リーダーをはじめ新人会員の皆さん、この事業を通して得たことを今後の当会活動に活かして頂けたらと思います。本当にお疲れ様でした。

2月22日（日）には長崎ランタンフェスティバル『媽祖行列』に参加して参ります。私も荷主という大役を仰せつかり、今から緊張しておりますが、長崎が誇るイベントに参加させて頂くという有難みを噛みしめながら、そして楽しんで行いたいと思います。見かけられたら、お声を掛けて頂ければ幸いです。

また、2月23日は臨時総会が行われ、次年度の事業および予算について審議されます。いよいよ今年度も残り少なくなって参りました。しかしながら、最後まで気を抜かず頑張っていく所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。

手帳データ更新のお願い（OB・現役会員の皆様へ）



総務例会委員長
山本 博貴

毎年この時期になりますと、会員名簿が掲載された手帳の作成が始まります。その際、よく聞かれる声の中に、「掲載されている情報を変更していない、間違っている」「写真が古くて誰か分からない」というものがあります。担当委員会および事務局におきましても十分にチェックしておりますが、変更についてはご本人からの申し出がないと出来ません。つきましては、変更ある方は2月末までに事務局へご連絡下さいますよう、お願い致します。写真もメールや郵送にてお送り頂ければ幸いです。宜しくお願い致します！

(株)ABC不動産



浜町店 Tel.816-3232

長崎駅前店 Tel.811-3232

長崎大学前 Tel.849-3232

協会会員様および紹介者様
仲介手数料10%割引致します

OB 松本 貞臣

親和観光

寿し・割烹 **にじん**



〒850-0904

長崎市船大工町6-10 (中尾ビル)

☎095(820)0787

☎095(824)9683

http://aushi-kappou-jin.com/

OB 中尾 仁

ソーケン株式会社
SOKEN

介護・湯灌・警備・派遣等
なんでもご相談下さい

長崎市住吉町21-7

☎ 095-894-9500

OB 佐藤 啓
会員 平井 聖士

印刷・出版・画廊
絵画・絵ハガキ・書籍【展示販売】



有限 **タイピント印刷**

〒850-0034 長崎市榊島町9-15

TEL.825-4777・FAX.825-2340

mail:typintg4@proof.ocn.ne.jp

OB 山口 稔之



まわたり

弁当販売

長崎市浜口町12-8

tel 095-844-3835

fax 095-844-1707

会員 馬渡 一正

1月定時例会

於 新興善メモリアルホール

平成27年1月21日(水)、1月度定時例会が開催された。

冒頭、馬渡会長より「次年度へ伝えるべきものを伝え、スムーズに移行できる様、頑張っております。会員においても次年度桂会長を盛り上げていきましょう！」と挨拶があった。役員報告では大楠副会長から「ランタンフェスティバル媽祖行列に参加します。参加をされない方も現地に足を運んでランタンフェスティバルを共に盛り上げていきましょう。」との報告があった。

続いて委員会報告が行われた。企画委員会からは忘年懇親会が盛大に終えたことへの感謝が述べられ、交流委員会からは年度末に企画している交流活動への参加依頼があった。そして、会員拡大委員会の報告の中で、新人会員による新人事業「遺構さるく」のアピールが行われた。赤木新人リーダーより「長崎にまだまだ残る遺構を巡り、平和についてや被爆地長崎を学び、後世に継承していきましょう！」と趣旨や内容の説明及び思いが伝えられた。

——【今月企画の講師講演は別枠ご参照】——

講師講演の後の誕生者祝いでは、誕生者に馬渡会長から一人ひとりにメッセージカードが手渡され、ヨロコビ報告、青年協会歌の斉唱と続き、1月度例会は閉会した。



～講師講演～

講師：三瀬清一郎氏

講演題目：ヒバクシャ地球一周 証言の航海

今回の講師講演では、有限会社三瀬商店 会長 三瀬清一郎氏による「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」の講話を頂いた。

三瀬氏は10歳の時に被爆し、原爆の恐ろしさを体験。その自らの被爆体験を語るためにピースボートに乗船し、世界18カ国の人々に被爆の実態や核兵器の無い平和な未来を訴えて来られた。被爆証言や交流活動に対する世界の人々の反応は、戦後復興・被爆差別・被爆補償について等、様々あったようだ。中でも、被爆者の多くの方が苦勞されていることは「被爆差別」とのことであった。確かに「被爆2世」などと言うと、他の地域では「えっ」という顔をされることもある。いまだに身近に起こり得る問題であり、その差別を無くしていく為に、私達の世代が、「被爆」というものをもう一度しっかり学び、それを継承していくことがまずは大切なことであると感じた

また、核兵器については国によって温度差(要・不要等含め)があったようだ。唯一の被爆国である日本、とりわけ被爆70周年を迎える広島・長崎から声をあげ、核兵器禁止をさらに訴える行動が必要とも感じた。

被爆体験の話などもっとお聞きしたかったが、あっという間に時間が来て、講師講演は終了した。今回の講演を通し、戦争・被爆体験の継承の重要性や継承の方法、また我々世代の役割等、いろいろな課題を会員一同、感じ取ることが出来たのではないだろうか。



ご先祖に永遠の安らぎを

桂 桂 石材 有限会社

墓碑・墓地・戒名彫込・施工販売
市内各所墓地紹介いたします

〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷125-3
TEL. 095-856-4094 FAX. 095-856-7533

会員 桂 雄 剛

★ダイワシロアリ

あなたの住まいを
白蟻から守ります。

白アリの駆除は任せて下さい。
スズメバチその他害虫駆除もおこないます

長崎市葉山1-44-6 ムシニ ナヤム

0120-642-786

会員 大楠 浩生

有限会社 コジケン
長崎県知事許可(般-12)第9038号

長崎市小江原2-35-1
tel 095-844-6546
fax 095-844-6569
mail:fujiken@road.ocn.ne.jp

会員 佐藤 慎太郎

有限会社
K&Aビルメンテナンス

〒850-0036
長崎市五島町5-36
TEL 095-829-3132
FAX 095-829-3168

会員 宮口 智行

有限会社 ヤマキ食品

本社 〒850-0045 長崎市宝町9-3
TEL.(095) 845-5785
FAX.(095) 845-5638

URL : http://www.yamakishokuhin.com
E-mail : info@yamakishokuhin.com

会員 山本 博貴

新人事業「遺構さるく」



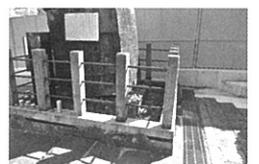
平成27年2月1日(日)、今年度の新人事業が開催された。新人事業とは、その年度に入会した新入会員が協力し合って作り上げるもので、今年は被爆70周年ということに着目し、被爆に関する遺構を巡り、改めてその恐ろしさと平和の尊さを学ぶという趣旨の企画であった。

開会式では馬渡会長より「この意義ある新人達の企画に我々もしっかりとした心構えで参加し、色々なことを吸収して次の世代へ継承していきましょう」と挨拶があった。続いて本日の主役である新人達の自己紹介が行われ、各々意気込みを語った。

1つ目の企画は、被爆者の方による講和であった。講和頂く田中安次郎さん(72歳)は、3歳の時に3.4km離れた中川町で被爆された方である。外で遊んでいる時、青白い閃光が走り、慌てて近所の家に飛び込んだが、物凄い突風でその家の土壁が崩れ、生き埋めの様な形になってしまった。双子の兄弟も同じ状態となり、その際亡くなってしまった。そのことを思い出すと今でも涙が出ると仰った姿が印象的であった。

「助けてくれ」と足を掴む手を払い、死体を踏みつけて避難する人々ばかり。人間は、極限の悲惨な状況に追いやられると、自分自身のことしか考えられなくなるという言葉が、重く我々にのしかかって来る。

田中さん曰く、被爆者は様々な困難を抱えている。被爆したことによる「ストレス」、自分だけ生き延びたという「罪悪感」、放射能の影響がいつ発症するのかという「恐怖」。それらを全て抱えて生きていく覚悟は相当なものだと思う。しかし、それを伝えて行くことが使命であり、今後も続けて行かなければならないとのことであった。最後に「たった一つの生命だから」という言葉の後に自分だけの思いの詰まった言葉を繋げ、心に止めて欲しい、とのメッセージを頂き終了。田中さんの言葉の重みが心にひしひしと伝わる、非常に有難い講和であった。



昼食後、以前より新人が作成していた千羽鶴の残りを、会員全員で完成させる。綺麗に折れてはいないかもしれないが、心がこもった千羽鶴にはなったと思う。

午後からは「遺構さるく」。新人がさるくガイドとなる。説明を行う。まずは片足鳥居からスタート。続いては山王神社の「被爆クスノキ」(樹齢500年以上)。ここからは2班に分かれ、「さるく」行く。①爆心地公園⇒②平和公園⇒③浦上天主堂⇒④長崎大学医学部というルートであった。爆心地公園では、昭和20年10月に爆心地と定められたこと等の説明があり、平和公園では、階段下の防空壕、長崎刑務所浦上刑務支所跡、平和祈念像について話があった。その後も浦上天主堂の被爆マリア像や崩れ落ちた鐘楼、長大医学部の16cm傾いた門柱等を見学した。この門柱の傾きは原爆による爆風を計算する際の基礎となったそうである。移動途中にも様々な遺構があり、改めて被爆や戦争というものを考えることが出来た。

最後に、原爆資料館へ千羽鶴を贈呈し、佐藤副会長の挨拶を以って事業終了。今年の新人事業は本当に考えさせられ、そして様々な発見が出来た事業であった。新入会員の皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとう！！

新人リーダー 赤木幸仁君 インタビュー



Q : 苦労した点はどこですか？

赤木: 下調べです。事前に講和も聞きに行き、さるくルートも歩き、それに伴う情報も調べました。

Q : 良かった点は何ですか？

赤木: 自分自身も良い勉強になりましたし、天気も良く、気持ち良く歩けましたので、会員の皆さんの運動不足解消にも一役買ったのかと思います(笑)

Q : 最後に一言

赤木: 新人一同が協力し合い、事業を作り上げられたことは何よりの財産。一人では出来ないが、仲間がいることでパワーが何倍にも増大するのを感じました。ありがとうございました！

今岡フエンス

〒859-0418
諫早市多良見町佐瀬 789-1
TEL/FAX 0957-44-1150

会員 今田 拓郎

skop Yokota

思案橋店 酒の宿
長崎市本灰石町1-7(ウイズビル前)
tel 095-822-7007
fax 095-823-0777

会員 常盤 俊介

press art

Sign Total Design
display・neon・information-shop
exterior・visual・objects・etc.
長崎市白木町3-14 若杉ビル1F
tel 095-821-1135
fax 095-821-1194

press-art@ninus.ocn.ne.jp
会員 桐野 克哉

たかしま農園 TAKASHIMA FARM

www.takashima-nouen.com
ハートの女王
情熱ハート
純情ハート

会員 北川 栄太

麴の尾屋

夢彩都店 095-829-3355
チトセビア店 095-842-2188

会員 荒木 訓弘

協会掲示板

“中国駐長崎総領事”着任歓迎会

2015年1月8日、鄧偉総領事の着任歓迎会がホテルニュー長崎で開かれた。光栄なことに当会も御案内を頂戴し、大楠副会長が出席させて頂いた。主役の鄧偉総領事ともご挨拶させて頂き、最後には『ぜひ領事館へ来てください。交流しましょう!』と優しく声を掛けて頂いた。懐の深さにいたく感銘を受けました。

会員 佐藤慎太郎君 祝・ご結婚!!



昨年12月27日、ガーデンテラス長崎にて当会副会長、佐藤慎太郎君とめぐみさんの結婚披露宴が行われました。感動的で、素敵な結婚式でした。末永くお幸せに!



NAOMIの

長崎検定への道! チャレンジNYA!!

この物語は、長崎をもっと深く愛するため、当会会員「NAOMI」が長崎検定にチャレンジするドキュメンタリーである。知っているようで知らない長崎をみんなで学んで行きましょう!そして「NAOMI」にエールを!

～第十回「軍艦島へ行ってみよう!世界遺産登録前に!」～

長崎検定の試験日が迫る1月下旬、受験勉強で焦っているはずのNAOMIから指令が!「軍艦島、リサーチして来て〜!」「OK!了解!」...「ただ、広報誌が出来上がるのは試験の後だけだね...」意外と冷たい「ちゃかE」が軍艦島へ繰り出す!試験結果が待ち遠しいが、では、真面目に早速スタート!

端島(軍艦島)は長崎港から南西約18kmの海上に浮かぶ面積6.5haほどの小さな島です。1810年頃に石炭が発見され、石炭の採掘は1870(明治3)年に天草の小山秀(こやまひいで)によって始められました。次に佐賀藩鍋島氏の手に移り、1890(明治23)年に隣の高島と同じく三菱の経営に移りました。

この島は当初、草木のない水成岩の瀬にすぎませんでした。採掘技術の発達とともに、島の周辺を埋め立てながら護岸堤防の拡張をくりかえし、現在の島の形状になりました。

端島で採掘される石炭は、良質であったため主に八幡製鉄所に製鉄用原料炭として供給されました。



また、炭坑の開発と並んで従業員のための住宅建設が盛んに行われ、1916(大正5)年には日本初となる高層鉄筋アパートなど様々な施設が次々に建設され、最盛期には5千人を超える人たちが生活しており、当時の東京都区部の9倍もの人口密度でした。

このように高層アパートが島内に林立し、さながら海の要塞の観を呈し、軍艦の「土佐」に似ていることから「軍艦島」として知られるようになりました。

しかし、石炭の島として一時代を築いた後、昭和30年代後半からエネルギー革命の嵐を受け合理化が進み、1974(昭和49)年閉山し、同年4月に無人島となりました。

端島は、海底を採掘したため、地上よりも地下に遥かに巨大で複雑な生産施設を持つとともに、地上には炭坑住宅などの多くの生活施設を有しており、良質の製鉄用原料炭を産出する地下1000mの炭層を持つ海底炭鉱の島として、わが国の近代工業を支えてきた炭坑でした。

2009年4月から島内の一部に上陸が可能となっています。なお、2014(平成26)年に国の史跡に指定されています。

日本の近代化に貢献した先人の「財産」を糧として学び、世界へ飛躍する全会員でありたいと思います。

取材メモ...島への上陸・見学コースでは、島内は日除け屋根や風よけ、休息所・自販機・売店・トイレ等は一切ありませんので、春や秋等の爽やかな時期に上陸することをお勧め致します。(夏は日照りが強く酷暑、冬は強風で接岸できず運休になることもある)



端島夜景 1973(昭和48)年
【出典:端島(軍艦島)高島町教育委員会】



長崎産直
なづみ野Salad
〒851-2106
長崎県西彼杵郡時津町左底郷340-1
TEL/FAX 095-801-8083
地産地消!!旬の農産物など揃えています!
会員 濱口吉朗

冠婚葬祭互助会
株式会社 **テレビシー長崎**
CFREMIYU NAGASAKI
平安閣グループ
〒850-0052
長崎市筑後町3-1
TEL 095-821-0774(代)
FAX 095-824-3425
会員 岩永 和哉

お部屋のトータルコーディネート
承ります!!
トータル インテリア
株式会社 **くらぶ**
〒8512-8143 長崎市川平町383-13
TEL 095-847-0280 FAX 095-849-5101
携帯 090-4180-1977
E-mail: kuraft2012@ark.ocn.ne.jp
会員 近藤 力丸

セキュリティ&ビルメンテナンス
株式会社 **STAR LIGHT**
〒850-0037
長崎市金屋町1-2 桜ビル2F
TEL 095-823-6575
FAX 095-823-6578
会員 城 竜次

J-net
Rent@Car
Jネットレンタカー
長崎市宝町3-20
TEL 095-818-7400
FAX 095-818-8400
会員 松下 道